

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社清水銀行（証券コード: 8364）

### 【見直し変更】

長期発行体格付  
格付の見直し

A-  
ポジティブ → 安定的

### ■ 格付事由

- 静岡市に本店を置く地方銀行で資金量は約1.5兆円。静岡県内全体での貸出金シェアは6%超だが、主要な営業基盤である静岡市清水区などでは高いシェアを有している。静岡県は製造品出荷額などが全国で上位に位置するなど地域金融機関としては比較的恵まれたエリアである。これらの事業基盤への評価などが格付を支えている。市場環境の変化により外貨建資産の運用収支が悪化し収益力への下方圧力が強まったこと、調整後のコア資本比率が低下したことから、格付の見直しを変更した。注力する中小企業向け取引は好調で、役務取引等利益、貸出金利息などが業績を下支えするとJCRはみており格付の見直しは「安定的」とした。
- コア業務純益（投資信託の解約損益を除く、以下同じ）の増益が続いていたが、23/3期上半期は17億円と前年同期比2割超の減益となった。有価証券運用などにかかる外貨調達コストの増加が主因であり、今後、業績への下押し圧力が更に強まっていくとJCRはみている。一方、店舗ネットワーク効率化などを背景とした経費の削減に加え、法人向けのフィー収益および貸出金利息の増加が、これまで増益を牽引してきた。法人向けのフィー収益は、コベナンツ付融資やビジネスマッチングなど、ラインナップを拡充し収益の厚みが増している。貸出金については、コロナ関連融資で残高を大きく伸ばして以降も残高を持続的に増やしている。コロナ関連融資の返済が進むとみられるが、貸出金利息は底堅く推移するとみている。
- 金融再生法開示債権比率は22年9月末で1.16%と低水準にある。足元の与信費用は落ち着いており、当面コア業務純益で吸収可能な範囲内で推移するとみている。ただし、その他要注意先の中に未保全額が収益対比でみて大きい先が多く、原材料価格の高騰などが与信先の業況および与信費用に与える影響には留意を要する。
- 海外金利の上昇を主因に、その他有価証券の評価損益は22年9月末で155億円の含み損となった。当行は含み損を抱えた外国証券の残高削減を図るなどの対応を進めている。JCRは、有価証券ポートフォリオの評価損益および収支の動向を注視していく。
- 22年9月末の連結コア資本比率は8.9%。ただし、有価証券の含み損などを保守的に調整したコア資本比率は7%台まで低下しており、格付対比でみて改善の余地がある。貸出金残高増に伴うリスクアセットの拡大、収益力の低下による内部留保蓄積ペースの鈍化を勘案すると、調整後のコア資本比率の回復には時間を要するとJCRはみている。

（担当）加藤 厚・大石 剛

### ■ 格付対象

発行体：株式会社清水銀行

### 【見直し変更】

| 対象      | 格付 | 見直し |
|---------|----|-----|
| 長期発行体格付 | A- | 安定的 |

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年1月6日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：加藤 厚
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社清水銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル